

2023 年度分

JST 知財活用支援事業に関する アンケート調査結果

(2024 年 8 月～9 月実施)

JST 知的財産マネジメント推進部
大学知財支援グループ

【調査概要】

- (1) 調査期間：2024/8/1～2024/9/6
- (2) 調査対象機関：126 機関（JST 知財活用支援事業で支援中の全機関）
- (3) 調査項目・回答率

調査項目	調査対象	回答率 (回答数/対象機関数)
1. 知財活用支援事業（権利化支援）についてのアンケート	大学・TL0 等 (支援中の全機関)	81.7% (103/126)
2. 知財活用支援事業（特許相談）についてのアンケート	TL0 を除く大学等	83.3% (105/126)
3. その他知財活動等に関するアンケート	TL0 を除く大学等	83.3% (105/126)

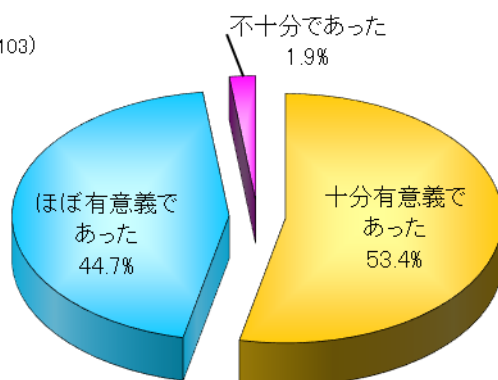
国立研究開発法人 科学技術振興機構

1. 知財活用支援事業(権利化支援)についてのアンケート

質問 1-1 発明の内容把握のために、JST 担当調査員による知財担当者や発明者等へのヒアリング(電話・メール・訪問等)を行っております。このヒアリングは有意義なものと感じられましたか？

質問1-1

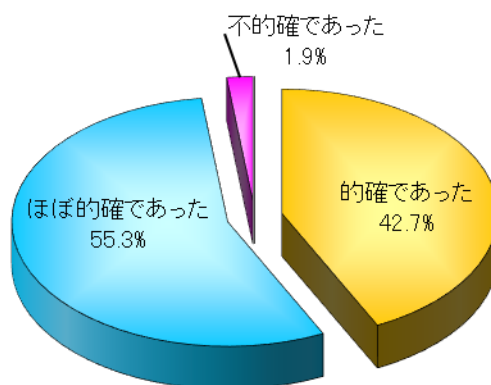
(有効回答数: 103)



質問 1-2 申請案件について、JST 担当調査員による「特許性(新規性、進歩性)」に関する調査、及びそれに伴うコメントは的確であると思われましたか？

質問1-2

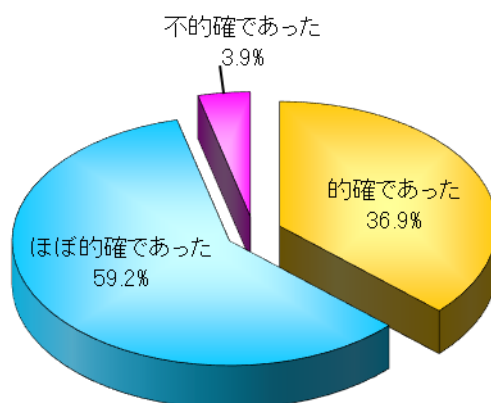
(有効回答数: 103)



質問 1-3 申請案件について、JST 担当調査員による「有用性(市場性・権利化範囲の広さ・権利侵害行為の立証容易性・社会公共性等)」に関する調査、及びそれに伴うコメントは的確であると思われましたか？

質問1-3

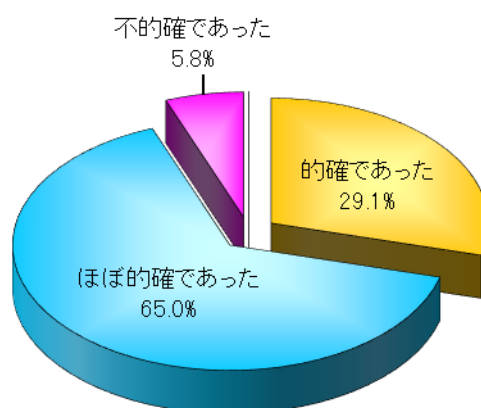
(有効回答数:103)



質問 1-4 審議結果及びその際の知的財産審査委員会からの評価・助言は的確であると思われましたか？

質問1-4

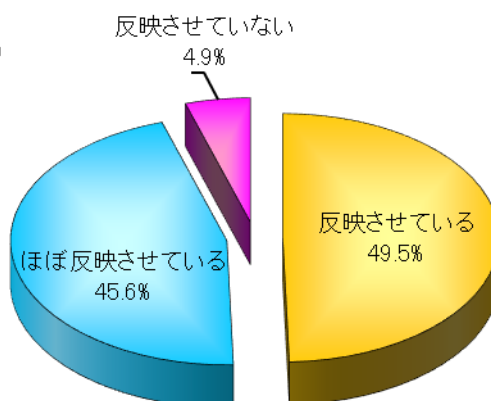
(有効回答数:103)



質問 1-5 申請案件に対する評価・助言は、外国出願時の明細書等に反映されていますか？

質問1-5

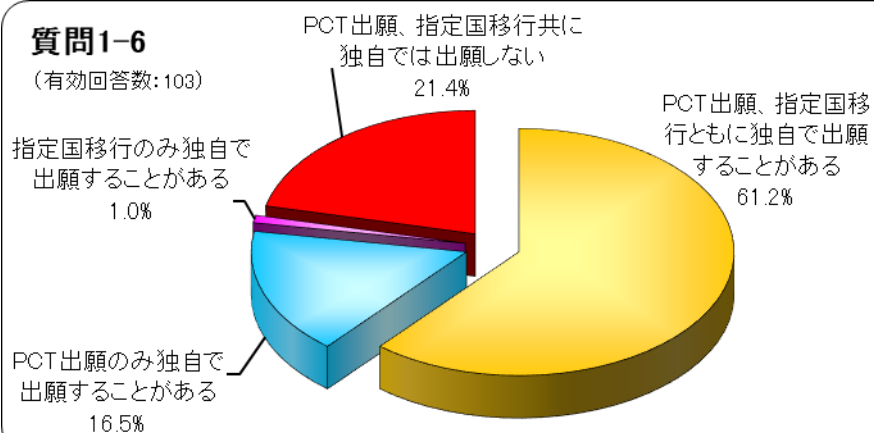
(有効回答数:103)



質問 1-6 支援対象とならなかった案件（PCT 申請、指定国移行）について、貴機関でその後の対応を教えてください。

質問1-6

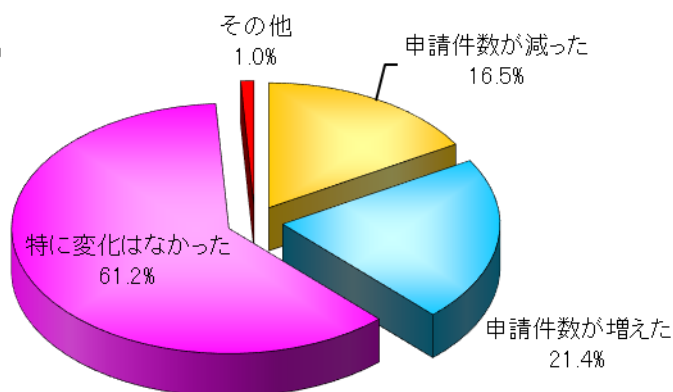
(有効回答数:103)



質問 1-7 この 1～2 年で、貴機関からの申請件数に変化がありましたか。又その理由をできるだけ具体的に教えてください。(外国出願や JST への申請基準の変更、大型の競争的資金プロジェクトの研究成果、知財・技術移転体制の強化等)

質問1-7

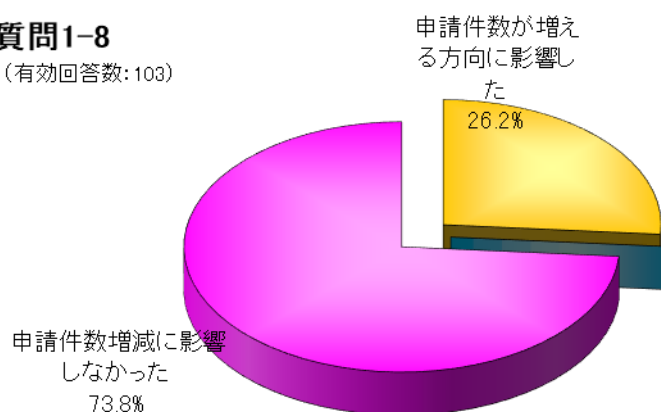
(有効回答数:103)



質問 1-8 昨年度より実施しております「PCT 出願支援対象の拡大*1」及び「指定国移行段階申請要件の緩和*2」により、貴機関の申請件数に影響はありましたか？

質問1-8

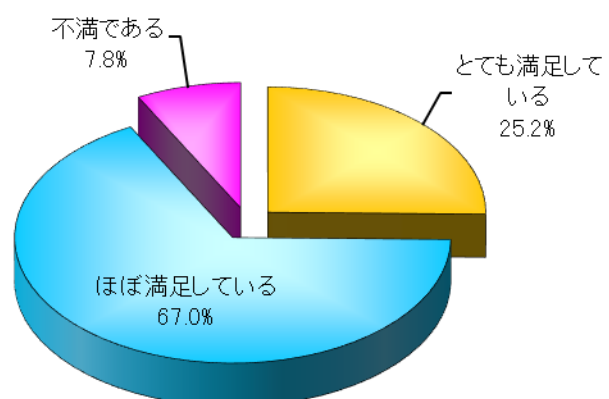
(有効回答数:103)



質問 1-9 総じて、権利化支援のご利用にご満足いただけていますか？

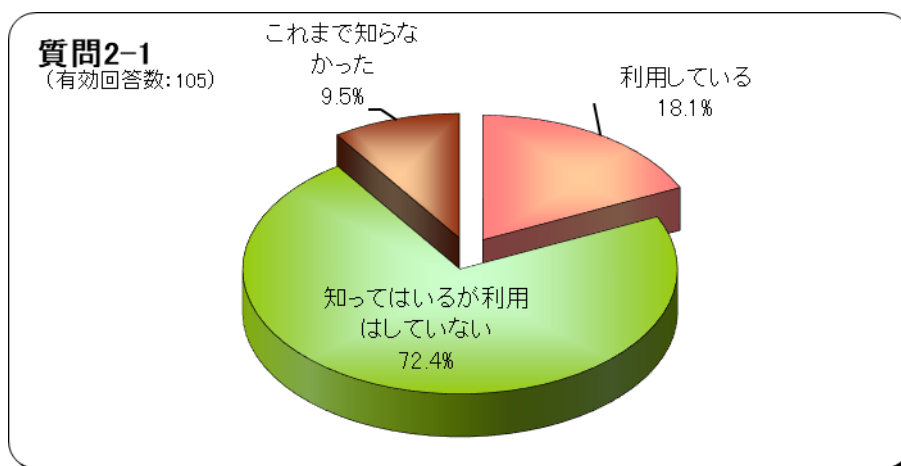
質問1-9

(有効回答数: 103)

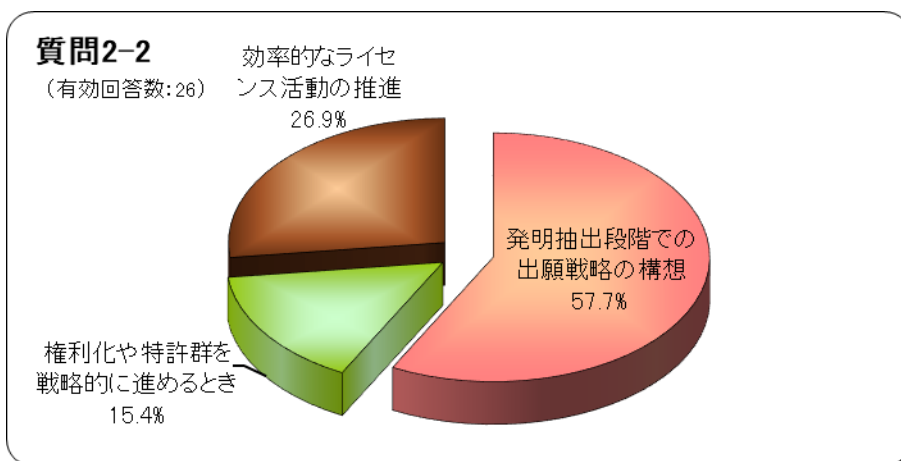


2. 知財活用支援事業(特許相談)についてのアンケート (調査対象:TL0を除く大学等)

質問 2-1 特許相談は利用していますか？



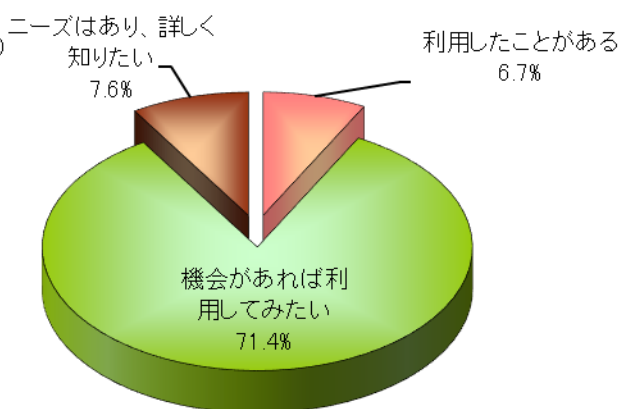
質問 2-2 特許相談は、どのようなときに利用していますか？



質問 2-3 昨年度に試行的な取り組みとして、外部調査会社を利用した特許活用に資する技術移転可能性調査を実施しました。大学等が独自に行うことが難しい調査を JST と大学等が共同で行うことで、その負担を軽減し、特許の更なる活用に繋げることを目的としております。こちらの試行にご興味はありますでしょうか？

質問2-3

(有効回答数: 105)



質問 2-4 貴機関で、JST 以外の知財人材支援の活用や工夫をされていること、特許相談に対する改善点、要望等があればご入力ください。

(グラフなし)

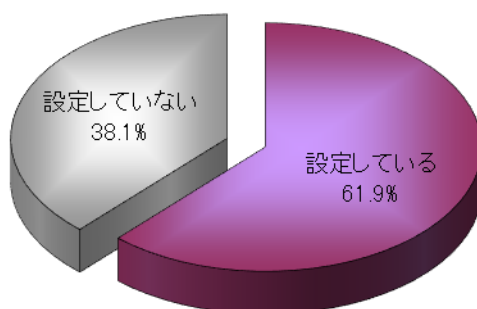
3. その他知財活動等に関するアンケート

(調査対象:TL0 を除く大学等)

質問 3-1 貴機関で国内出願の発明から外国出願の対象案件を選択する際に JST 支援の結果以外の基準等を設定されていますか？

質問3-1

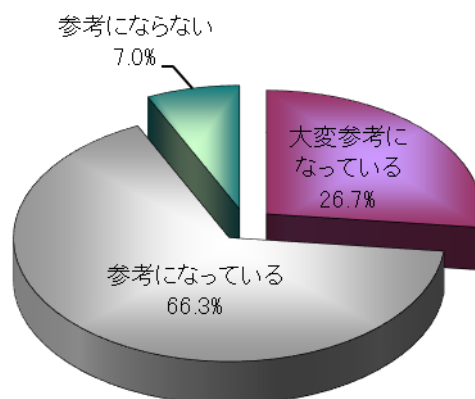
(有効回答数:105)



質問 3-2 これまでの JST 権利化支援の利用経験は、外国出願対象案件を選択する基準の設定に参考となっていますか？

質問3-2

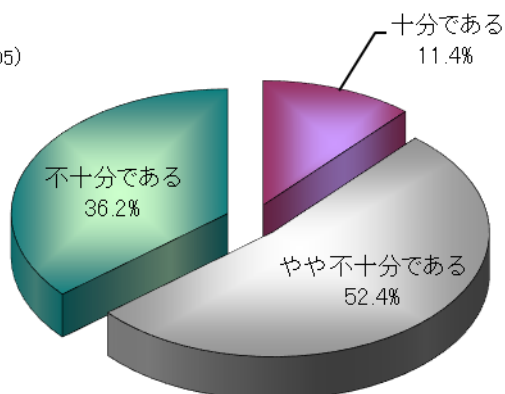
(有効回答数:86)



質問 3-3 貴機関における発明の評価・出願の体制について、現在、発明の発掘から特許化までの人的な体制は十分ですか？

質問3-3

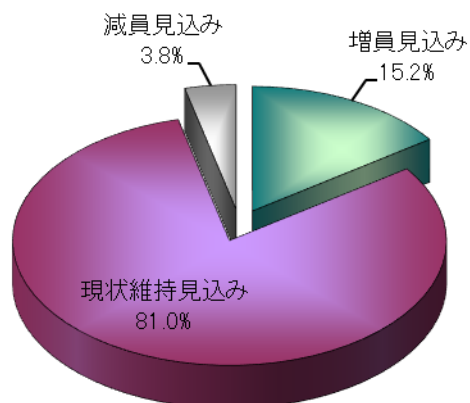
(有効回答数:105)



質問 3-4 今後の体制について、目利き業務に従事される人員の増減見込みはありますか？

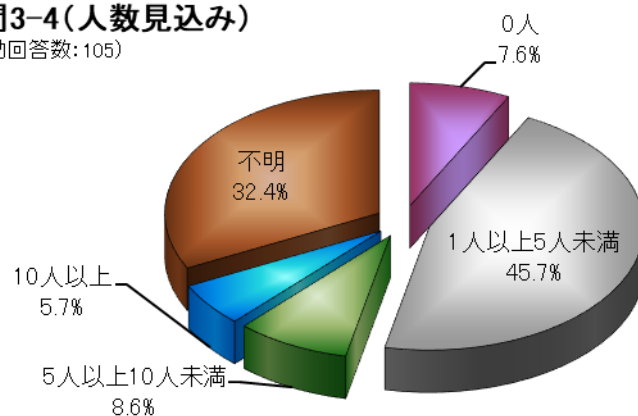
質問3-4

(有効回答数:105)



質問3-4(人数見込み)

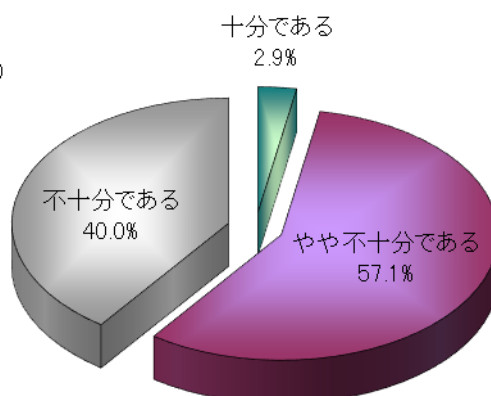
(有効回答数:105)



質問 3-5 貴機関におけるライセンス活動体制について、現在、出願中や権利取得済特許等のライセンスを行うための人的な体制は十分ですか？

質問3-5

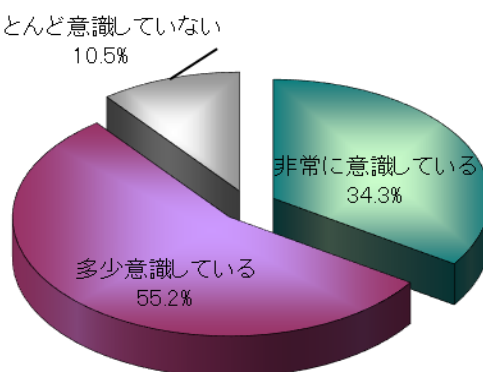
(有効回答数: 105)



質問 3-6 貴機関における特許戦略について、特許出願の際、機関としての基準や特許戦略の策定に沿った出願を意識していますか？

質問3-6

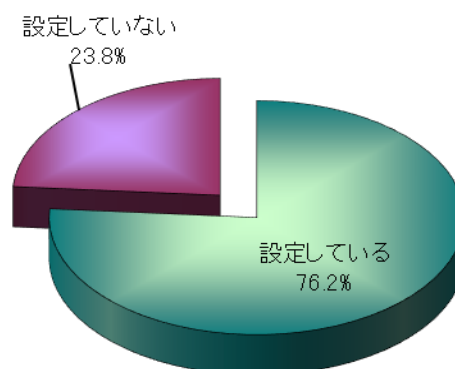
(有効回答数: 105)



質問 3-7 外国特許出願後の権利化要否や維持要否等を行う（いわゆる「棚卸し」）基準を設定されていますか？

質問3-7

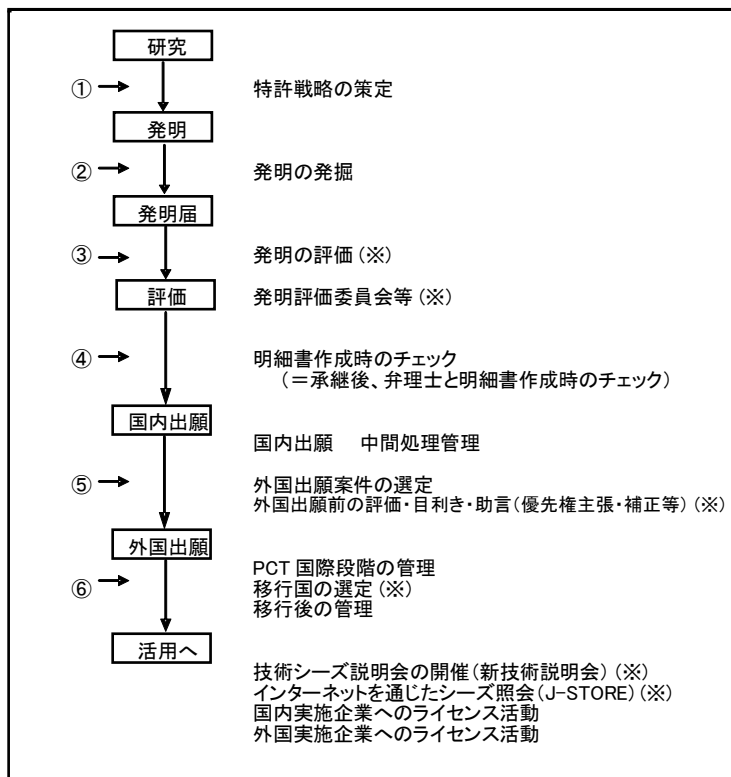
(有効回答数: 105)



質問 3-8

今後、貴機関の特許化活動を支援する上で、最も必要なフェーズを別図「発明の流れ」をご参照の上、該当するフェーズを選択してください。

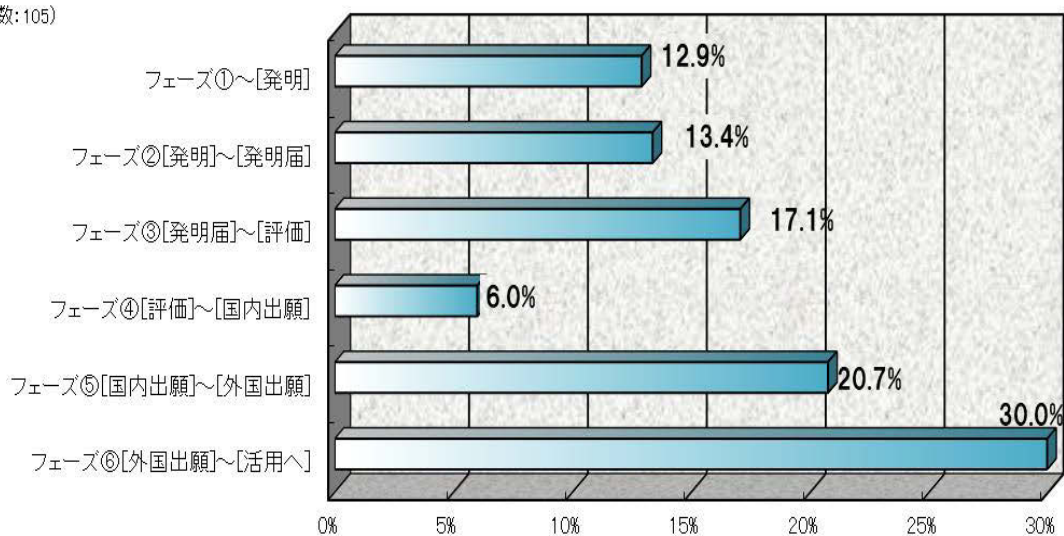
【発明の流れ図】



質問3-8

(回答機関数:105)

【複数回答可】

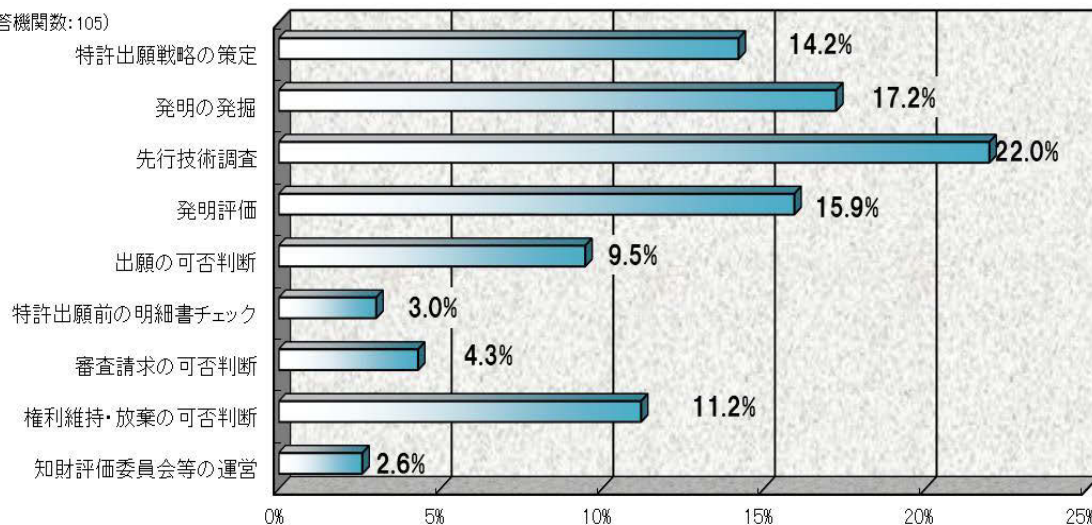


質問 3-9 貴機関の特許化活動の中で、支援が必要と思われる項目を選択してください。

質問3-9

【複数回答可】

(回答機関数: 105)

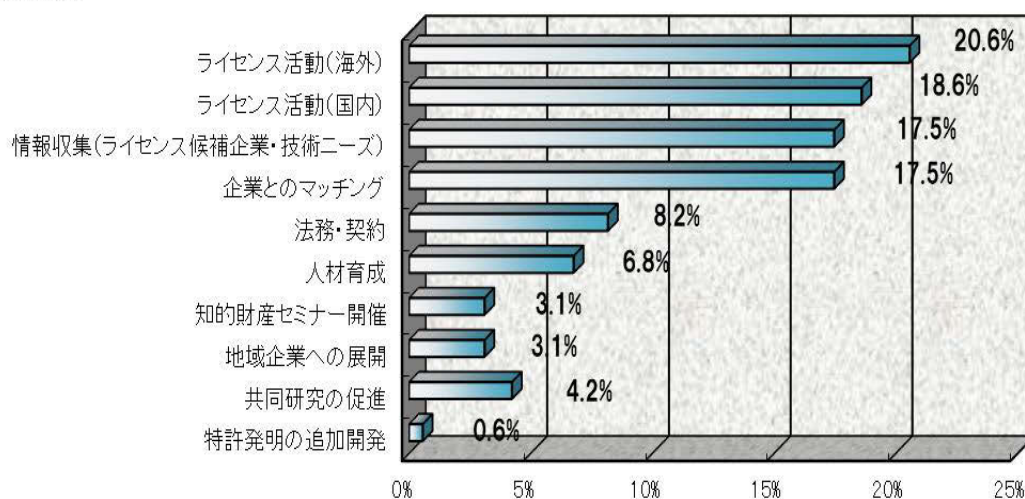


質問 3-10 貴機関の知的財産全般・技術移転活動全般に関する活動（特許化活動以外）において、支援が必要と思われる項目を選択してください。

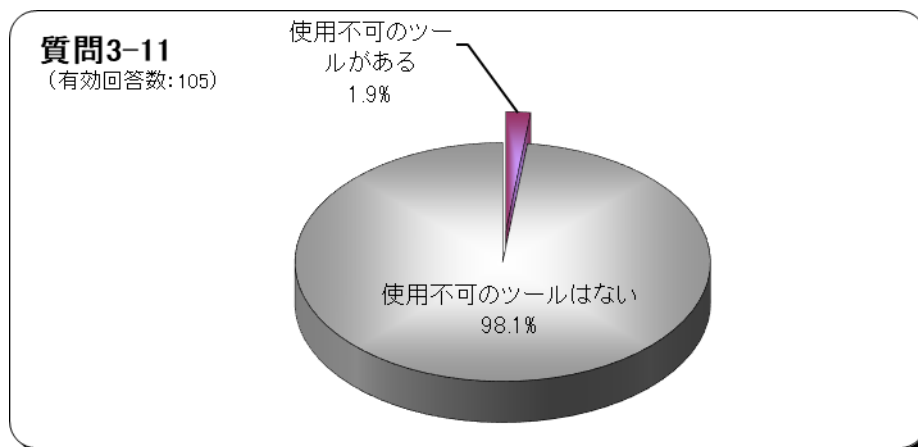
質問3-10

【複数回答可】

(回答機関数: 105)



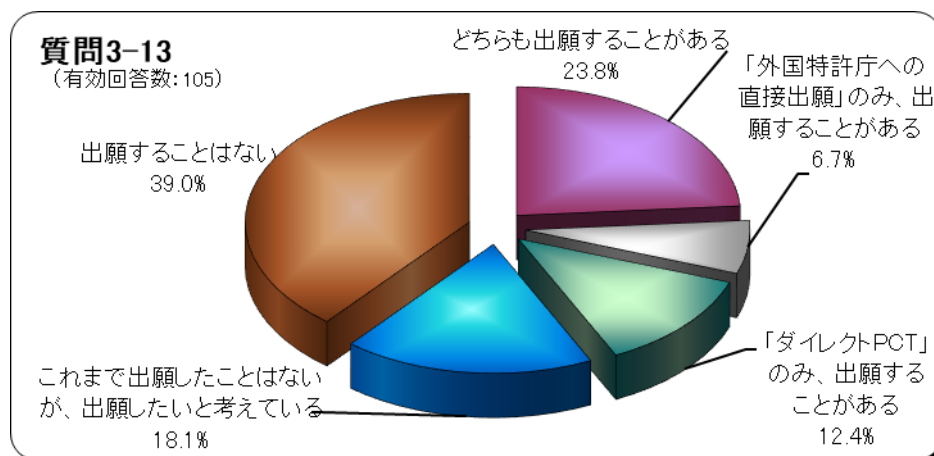
質問 3-11 来年度に向けて、知的財産審査委員会の会議ツールについて、v-cube から Zoom 等への移行を検討しています。貴機関にて使用できないツールがある場合は（１）を選択の上、使用できないツールをコメント欄にご入力ください。



質問 3-12 JST 権利化支援では、支援から一定期間経過した案件の支援継続見直しをしております。支援継続見直しについて、貴機関のご意見をお聞かせください。

(グラフなし)

質問 3-13 現在、貴機関において、権利化支援の支援対象外となっている「外国特許庁への直接出願」あるいは「国内優先権主張を伴わない国際出願（ダイレクト PCT）」を行われていますか？行われている場合、どのような支援があると良いと思いますか？



質問 3-14 その他、ご意見・ご希望等ございましたら、ご入力ください。

(グラフなし)

(以上)